

銘柄分析レポート：会社四季報夏号で気になった銘柄（2023年版）

1 はじめに

下図をご覧ください。2020年8月1日付の銘柄分析レポート「会社四季報夏号で気になった銘柄」で取り上げた宮地エンジニアリンググループ（3431）の月足チャートです。

当時（2020年7月31日終値）の株価は1,524円。予想PER 5.2倍、実績PBR 0.4倍、予想配当利回り3.9%でした。

銘柄分析レポートでは、次のように述べています。

株価は120月移動平均線を下回っており、長期的な安値圏にあります。東京オリンピックに向けた特需の反動が懸念されているとは言え、売られすぎのような気がしました。長期投資であれば、打診買いを検討してもいいと思われる水準です。

奇遇にも株価は1,524円がほぼ底値でした。レポートを出した直後から上がり始め、今年6月30日終値は3,990円まで上昇しています。

このケースは出来すぎかもしれませんが、会社四季報の通読をコツコツ続けていれば、投資チャンスに巡り合える可能性があるという意味で例示しました。

今月号の銘柄分析レポートでは、二匹目のドジョウを狙って、会社四季報2023年夏号で気になった銘柄を取り上げます。

★宮地エンジニアリンググループ 株価チャート

